

令和 6 年度 定時社員総会 招集のご案内

目 次

- 1 定時社員総会の開催について…………… P 1
- 2 添付書類
 - (1) 事業報告…………… P 3
 - (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録…………… P 19
 - (3) 監査報告…………… P 29
- 3 社員総会参考書類…………… P 31
 - 第 1 号議案 令和 5 年度 計算書類等の承認の件
 - 第 2 号議案 理事 6 名の選任の件
- 4 その他資料…………… P 33
 - 会員心得十か条・就業心得十か条（表紙裏）
 - 東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）理事長挨拶文
 - 会員表彰者一覧
 - 事前質問用紙
 - 公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター役員名簿



公益社団法人 武蔵野市シルバー人材センター

会員心得十か条

私は武蔵野市シルバー人材センター会員として十か条を遵守します

1. シルバー人材センター会員としての誇りと自信、自覚を持ちます。
2. 自主・自立が組織理念です。自分たちで育て、発展させていきます。
3. 共働・共助が事業理念です。お互いに協力し、助け合い、仲良く働きます。
4. 安全は全てに優先するが基本理念です。ルールを守り健康的な生活を送ります。
5. 自己満足・自己陶醉に陥らず、相手には耳を傾け、仲間意識を持って事に当たります。
6. センターを通して人と人との連鎖を作り、社会貢献と地域貢献に繋がっていきます。
7. 仕事の受注・交渉は全てセンター経由とし、直接の交渉当事者にはなりません。
8. 礼儀・礼節は忘れずに、お互い挨拶を省略しないようにします。
9. 何事にも関心・好奇心を持ち、チャレンジ精神を養います。
10. 個人情報とは充分配慮して取り扱います。

就業心得十か条

私は武蔵野市シルバー人材センター会員として就業の心得十か条を遵守します

1. 就業規則を守り、ルールに反することはいたしません。
2. 相互共助・共働の精神を忘れず、実をあげる事に努力します。
3. ユーザーとの交渉はセンターに一任し、直接の交渉当事者にはなりません。
4. 先輩・リーダーのアドバイスを尊重し、知識・技能等を磨き、そして共有していきます。
5. 一人の信用は全員(全体)に繋がる事を念頭に置き、誇りを持って就業にあたります。
6. 安全を第一義とする基本理念に則り就業に携わります。
7. 接客マナーに常に気を配り、顧客には誠意をもって接遇します。
8. 自分だけ良ければいいのでは無く、ワークシェアリングを忘れません。
9. 労働行政に関わる法令遵守(コンプライアンス)に心掛けます。
10. 挨拶は就業の基本と心得、決して省略はしません。

(令和3年10月21日策定)

招 集 通 知

令和6年5月29日

会員各位

武蔵野市西久保1丁目6番27号
多摩信用金庫武蔵野支店4階
公益社団法人 武蔵野市シルバー人材センター
代表理事 会長 安 達 勝

令和6年度 定時社員総会の開催について

拝啓 会員の皆様には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、公益社団法人武蔵野市シルバー人材センターの定時社員総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席賜りますようお願いいたします。

出欠席につきましては、同封の「出欠席回答書」にご記入の上、**令和6年6月12日(水)までに** 到着するようにご返送くださいますようお願い申し上げます。ご欠席の場合は、あわせて委任状（または議決権行使書）をご提出ください。

代理人によるご出席をご希望の場合には、同封の委任状にご署名の上、令和6年6月12日(水)までに到着するようにご返送くださいますようお願い申し上げます。

また、当日ご欠席の場合は書面により議決権を行使することができます。本通知及び添付の社員総会参考書類をご覧の上、同封の議決権行使書に議案への賛否をご表示いただき、令和6年6月18日（火）午後5時までに到着するようにご返送くださいますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症が分類上見直しにはなりましたが、当日は人が密集する状態になる恐れがございます。ご来場に際しては、感染防止対策と健康状態にご留意いただきますようお願いいたします。

記

1 日時及び場所

令和6年6月19日（水） 13時30分～（受付開始 13時～）
東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-22
武蔵野公会堂 ホール （最終頁の案内図参照）

2 目的事項

(1) 報告事項

- ① 監査報告
- ② 令和5年度 事業報告の件

(2) 決議事項

- ① 第1号議案
令和5年度 計算書類等の承認の件
- ② 第2号議案
理事6名の選任の件

※議案の概要は、社員総会参考書類（P31・P32）に記載してあります。

※事業報告書・計算書類・参考書類等の内容について修正が生じた場合には、当センターのホームページ（<http://www.musashino-sc.or.jp>）に掲載するとともに、事務局掲示板に掲出してお知らせいたします。

※議案に関する質問は、本書に『事前質問用紙』（P37）を添付しています。

6月12日(水)までに事務局へ到着するよう持参、郵送、またはファクシミリでご提出願います。

※ご案内とお願い

○当日の予定は下記のとおりとなっております。

13:00 -受付開始

13:30 -開 会

-会長挨拶

-来賓祝辞

-会員表彰 : 在籍20年・10年会員の方、財団表彰

(当日は各代表者のみの表彰となります。)

-定時社員総会

-議 案

15:30 -閉 会

(1) 事 業 報 告

令和 5 年度 事業報告

I 概況

令和 5 年度は、令和 2 年から続く新型コロナウイルス感染症の影響から、徐々に以前の活動を取り戻しつつセンター運営を行ってまいりました。コロナ禍期間の就業機会の減少、イベント等の中止・延期などが及ぼした影響から、ようやくこれまでの日常に回帰することができたことが感じられた 1 年でした。

令和 5 年度の重点的取り組みである「地区活動の強化」（地区の活性化）については、4 年度に引き続き地区長 12 名とブロック理事 6 名による会議を開催し、各地区活動の進捗状況確認及び活動推進に向けた意見交換を行いました。加えて 5 年度は、地区での地区責任者会議や会員連絡会、会員向けのイベントなど、会員同士が集い、実際に顔を合わせる機会を、だんだんに持つことができました。令和 6 年度は、さらにこれらの活動が活発になり、地域の「絆」が深まることを期待しております。社会奉仕活動やセンター P R 活動については、徐々に再開されたコミセン文化祭などを中心に、積極的に出展、参加いたしました。

契約実績につきましては、各就業とも、コロナ前の状況にほぼ回復いたしました。中でも公共からの受注全般、及び一般企業や家庭からは除草や庭木の手入れなどについては、昨年度同様、多くの受注を受けました。一方で、コロナ対応で発生した市立小中学校消毒事業が令和 4 年度末で終了したため減収となりました。しかし、あらかじめ見込まれた減収であったため、契約実績は 5 年度の目標値 368,446 千円をわずかに下回る 367,626 千円の売り上げを達成することができました。

会員増強については、5 年ぶりに実施した新入会員募集及びセンター周知イベントである「シルバー人材センター健康フェスタ」の実施に加え、2 回の会員募集チラシの配布、年度末には郵便局へのポスター掲示を行いました。また、入会説明会については、センターで毎月実施したほか、2 回の「出張説明会」のうち 1 回を、職種を特定した説明会として実施しました。これらの活動により、入会者数は前年度を 30 名上回る 157 名でした。その結果、退会者数を上回り、会員数は前年度より 21 名増加し、1,106 名となりました。

令和 6 年度も、センターの会員一人ひとりが、地域社会に貢献し、地域から愛され、頼りにされる存在となれるよう、またいつまでも働き続けることができるよう「魅力あるシルバー人材センター」を目指してまいります。会員の皆さまには、社会貢献への意欲を、地域社会のために生かしていただけるよう、より良き就業にて一層のご活躍をお願いいたします。

Ⅱ 数値目標と実績

数値目標の達成状況

	目標額	実績	達成率	前年度実績	増減
会員数（人）	1,100	1,106	100.5%	1,085	21
契約額（千円）	368,446	367,626	99.8%	391,830	△24,203
就業率（%）	80.9	76.7	94.8%	80.7	△4.0

第五期中期目標の初年度にあたる令和5年度については、ほぼコロナ禍前の状況に回復いたしました。

会員数については、目標1,100名に対して1,106名で達成率100.5%となり、前年度比21名の増となりました。

契約額については、目標368,446千円に対して367,626千円で達成率99.8%となり、目標をほぼ達成することができました。

就業率については、目標80.9%に対して76.7%で達成率94.8%となりました。

Ⅲ 運営の基本的な対応

【基本方針】

「魅力あるシルバー人材センターを目指して～元気に、楽しく、安全に～」

センターの会員一人ひとりが、地域社会づくりに貢献し、地域から愛され頼りにされる存在となれるよう、「地区の活性化」に向けた取り組みを一步ずつ前進させ「魅力あるシルバー人材センターづくり」を目指しセンター運営を行いました。

【3大目標】

1 魅力あるセンターづくり

「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、会員・発注者・地域にとって、魅力的なセンターとなることを目標としてセンター運営を進めました。

2 安全就業

会員の高齢化に伴い、就業先、就業途上での事故は増加傾向にあるため、会員の安全意識の向上及び安全対策の重要性は増しています。事故防止に向け、センター全体で「安全はすべてに優先する。」との基本理念を再確認し、安全就業に向けた取り組みを推進しました。

3 会員増強

「シルバー人材センターでの働き方」を望む方に確実に入会してもらえるよう、センターの認知度を高め、魅力をアピールし、入会機会の拡大と定着への働きかけを行いました。

【重点的取り組み】 「地域活動の活性化」

コロナの影響で様々な活動が制約される中、センターの「強み」の一つでもあった会員同士の交流など横のつながりの希薄化が懸念されたため、令和3年度に設置した12名の地区長と6名のブロック理事が連携を図りながら、まずは地域の会員と顔の見えるコミュニケーションづくりに着手しました。今後は、地域活動や就業を通した「会員増強」、「就業先拡大」を推進し、魅力あるセンターづくりを目指してまいります。

IV 事業計画の実施状況

1 就業開拓提供事業

会員に就業機会の確保及び提供を行うことを目的として、次の事業を実施しました。

- ・各事業において、事業継続のための就業会員の確保に努めました。市報については、就業を辞退する配布員の後任探し、及び急な欠員の代理配布員探しについて、就業ニュース等で積極的に呼びかけることとしたほか、拠点管理者・地区長・理事などの協力による地域での補充策の検討を引き続き行います。庭木の剪定及び除草作業については、それに特化した入会説明会を実施し、関心のある方により詳しい説明ができる機会を設け、新規会員に入会いただくことができました。
- ・会員の年齢、体力に合わせた就業体制の見直しに向けた検討を行いました。
- ・会員へ広く就業情報を提供するために『就業ニュース』を毎月2回発行しました。また、センターで実績のある就業を一覧にした『シルバー人材センターのお仕事紹介』を作成し希望者に配布しました。
- ・適正就業については、就業現場の確認や契約書の内容精査を行い、適切な業務遂行の推進及び法令遵守に努めました。また、会員及び契約先への適正就業ガイドラインの案内と協力依頼を行いました。
- ・独自事業については、広く会員に就業機会を提供するとともに、会員の経歴や特技などを生かした事業を実施しました。手芸小物班については、コミセン文化祭や桜まつり、タワーズマルシェへの出展により、販売機会の拡充に加え、より多くの方にシルバーの魅力を伝える機会を持つことができました。

2 普及啓発事業

(1) センターのPRと普及啓発

【センター主催イベントの実施】

入会促進とシルバー事業周知のためのイベントである「シルバー人材センター健康フェスタ」を5年ぶりに実施することができました。

日 時：令和6年2月16日 午後2時から

場 所：武蔵野総合体育館 大会議室(3階)・柔道場(4階)

内 容：認知症を予防する栄養管理に関する講演と、認知症予防に資する運動・脳トレ実技

講演「認知症予防 食事で脳を活性化」管理栄養士 浜本千恵氏

講演・実技「転倒予防体操&脳トレ」健康運動指導士 昌浦龍男氏

参加人数：45人

広 報：市報掲載、新規会員募集と合わせたチラシを新聞折込

【出張入会説明会・特定職種説明会】

・10月27日 武蔵野公会堂 通常の出張説明会

・10月20日 市民会館 特定職種(植木・除草)出張説明会

【全戸配布チラシ】3月1日号市報と同時に配布(会員をモデルに起用した写真を利用したもの)

【ポスター掲示】3月4日から2週間、市内郵便局にセンターチラシをA2サイズに編

集したものを作成し掲示

【イベント等への出展】

- ・各地区で行われたコミセン文化祭に出展し、パネル展示等を活用し当センターの活動についての紹介を実施しました。
- ・3月31日に、5年ぶりに開催された武蔵野桜まつりに出展し、手芸品の販売と会員募集チラシの配布を実施しました。

(2) 社会奉仕活動

- ・10月14日に実施されたシルバースポーツ大会（武蔵野市主催）に協力しました。
- ・市立小学校への雑巾寄贈1,400枚については、3月6日に市役所で寄贈式を行いました。
- ・第五小学校登下校時の児童見守りボランティアは従来どおり実施しました。
- ・市報配布・ふれあい訪問収集等を通しての安否確認は、従来どおり実施しました。
- ・3月3日に開催された東京マラソンランナー応援イベントにボランティアとして参加しました。
- ・11月26日に実施された市内一斉清掃（武蔵野市主催）へ参加しました。
- ・コーラスグループ福寿草は練習を再開し、福祉施設等への訪問活動に向けての準備を行いました。また、11月4日にはコミセン文化祭に出演しました。

3 研修・講習事業

- ・就業に必要な技術の習得や、センターの事業理念の理解を促進するための研修・講習について、東京しごと財団主催の研修の案内およびセンターでの研修を実施しました。
- ・12月18日、19日に、いつまでも健康で安全に働き続けるために、全会員を対象としたフレイル予防に関する研修を行いました。

4 調査研究事業

- ・全国シルバー人材センター事業協会及び東京しごと財団における会議及び研修に積極的に参加し、全国センターの動向把握及び情報収集に努めました。また、第5地域のセンター間での活動を通して、各センターのより具体的な取り組みなどについて情報交換を行いました。
- ・市や関係団体との意見・情報交換を行いました。
- ・センター事業の分析及び課題整理、対策の検討を行いました。植木剪定作業について調査・検討を行いました。また、事業活性化委員会において、高年齢会員の就業状況の確認を行いました。

5 相談事業

- ・入会を希望する市民のために入会説明会を毎月実施するとともに、入会後の早期就業に結び付けることを目的に、すべての新入会員を対象にした個別就業相談を実施しました。
- ・出張入会説明会については、通常のものに加え、植木・除草についてより詳しい説明を行う説明会を行いました。

10月27日 武蔵野公会堂 通常の出張説明会

10月20日 市民会館 特定職種（植木・除草）出張説明会

- ・新たに新入会員募集のパンフレットを作成しました。

6 安全就業推進事業

- すべての会員が安心して就業等の活動に専念できるよう、安全意識の徹底と事故防止に努めました。特に財団による安全就業パトロールを契機に、センターでの安全就業基準の整備と遵守の徹底を確認し、安全就業意識の向上を図りました。
- 傷害事故は 11 件で昨年度より 1 件減少しましたが、これに加えて保険適用外のものが 2 件あるため、実質的には 1 件増加しています。賠償事故は 5 件となり、昨年度より 1 件減少しましたが、保険適用外のものが 3 件あるため、合わせると 2 件増加しました。加えて、車両事故も 2 件発生しています。あらためて安全確認の徹底の注意喚起を行い、今後より一層の安全就業をセンター一丸となって推進いたします。
- 安全ニュースを頻回に発行することにより（11 回発行）、時節にあった安全就業の周知を行いました。また携帯電話のショートメールサービス（SMS）を利用し、熱中症予防や冬季の路面凍結時等の注意喚起を行いました。
- 市交通企画課の協力のもと、2 月 27 日に自転車安全利用講習会を実施しました。

7 管理・運営事項

（1）理事会・各部委員会運営

- 理事会を毎月開催し、所管事項の審議等を行いました。
- 目的ごとに設置された専門委員会（総務企画委員会、研修委員会、安全管理委員会、広報編集委員会、適正就業委員会、事業活性化委員会、就業開拓委員会）において会議を開催しました。
- 施策実効性の高い実施体制の検討を行いました。

（2）地域班・職群班運営

- 12 地区の地区長とブロック理事との合同会議を 7 月、12 月に開催し、地区の活性化について、今後の方向性の確認と活動推進に向けた意見交換を行いました。
- 各地域でのセンター事業の P R 活動や会員同士の交流、情報交換会が開催されました。
- それぞれの職群において、構成会員による会議を適宜行い、課題把握や情報共有、改善策の検討を行いました。

（3）事務局体制

- 事務の効率化と生産性の向上に努め、超過勤務時間を削減しました。
- 発注者の利便性向上に資するため、支払方法にコンビニエンスストアでの支払を導入しました。

（4）安定的経営

- 令和 5 年 10 月から開始されたインボイス制度への対応を踏まえた事務費収益増収のため、事務費率の見直しを行いました。公共・民間ともに事務費率を原則 10%となるよう契約時交渉を行い、本年度分から実施しました。

別紙（主要会議の実施状況）

(1) 定時社員総会

種別	年 月 日・会 場	議 題
定時社員総会	令和5年6月14日(水) 武蔵野公会堂 ホール (武蔵野市吉祥寺南町 1—6—22)	・報告事項 監査報告 令和4年度 事業報告 ・決議事項 第1号議案 令和4年度計算書類等の承認の件 第2号議案 理事4名の選任の件 第3号議案 監事2名の選任の件

(2) 理事会（主な決議事項・承認報告事項）

第1回 令和5年4月20日（木）
決議事項：正会員の入会承認（退会会員の報告含む）、特別会員の会費について、理事候補者の選任について、監事候補者の選任について、令和5年度定時社員総会開催要領について、令和4年度補正予算（第1回）について 報告事項：令和5年3月分事業実績報告、行事・会議等報告、委員会・その他会議報告
第2回 令和5年5月23日（火）
決議事項：正会員の入会承認（退会会員の報告含む）、令和4年度会員会費未納者の取り扱いについて、令和4年度事業報告の承認について、令和4年度計算書類等の承認について、会員表彰・役員表彰等の承認について、令和5年度定時社員総会の開催について、 報告事項：期末監査報告、令和5年4月分事業実績報告、行事・会議等報告、委員会・その他会議報告
第3回 令和5年6月22日（木）
決議事項：正会員の入会承認（退会会員の報告含む）、理事の担当ブロックについて、専門委員会設置要綱の一部改正について、理事の担当委員会について、職員の期末手当に関する基準の一部改正について、職員の勤勉手当に関する基準の一部改正について 報告事項：令和5年5月分事業実績報告、行事・会議等報告、委員会・その他会議報告、令和5年度定時社員総会報告
第4回 令和5年7月27日（木）
決議事項：正会員の入会承認（退会会員の報告含む）、適正就業に関する要綱の一部改正について

報告事項：令和5年6月分事業実績報告、行事・会議等報告、委員会・その他会議報告
第5回 令和5年8月24日（木）
決議事項：正会員の入会承認（退会会員の報告含む） 報告事項：令和5年6・7月分事業実績報告、行事・会議等報告、令和5年度事故報告について、委員会・その他会議報告
第6回 令和5年9月21日（木）
決議事項：正会員の入会承認（退会会員の報告含む） 報告事項：会長・副会長・常務理事職務執行状況報告について、令和5年8月分事業実績報告、行事・会議等報告、委員会・その他会議報告、センターのインボイス対応について
第7回 令和5年10月26日（木）
決議事項：正会員の入会承認（退会会員の報告含む）、今後の地区長会開催について、就業開拓について 報告事項：令和5年9月分事業実績報告、行事・会議等報告、委員会・その他会議報告、コンビニ納付の開始について
第8回 令和5年11月22日（水）
決議事項：正会員の入会承認（退会会員の報告含む）、理事候補選任の方法について 報告事項：令和5年10月分事業実績報告、行事・会議等報告、委員会・その他会議報告、シルバー人材センター健康フェスタ（仮称）の実施について、東京しごと財団安全就業巡回の結果について
第9回 令和5年12月21日（木）
決議事項：正会員の入会承認（退会会員の報告含む）、職員の勤勉手当に関する基準の一部改正について、令和6年度シルバー総合保険・役員賠償責任保険の契約更新について、理事候補者選任の方法について 報告事項：令和5年11月分事業実績報告、行事・会議等報告、令和5年度期中監査報告、委員会・その他会議報告
第10回 令和6年1月25日（木）
決議事項：正会員の入会承認（退会会員の報告含む） 報告事項：令和5年11・12月分事業実績報告、行事・会議等報告、委員会・その他会議報告、地区長会議報告、事務所賃貸借契約について
第11回 令和6年2月22日（木）
決議事項：正会員の入会承認（退会会員の報告含む） 報告事項：令和6年1月分事業実績報告、行事・会議等報告、委員会・その他会議報告

第 12 回 令和 6 年 3 月 21 日（木）

決議事項：会員会費規定の一部改正について、正会員の入会承認（退会会員の報告含む）、適正就業に関する要綱の一部改正について、令和 6 年度事業計画・収支予算書（案）について、令和 6 年度資金調達及び設備投資の見込みについて、未収金の貸倒損失処理について、会計関係書類の廃棄処分について、令和 6 年度理事の就業について

報告事項：会長・副会長・常務理事の職務執行状況の報告、令和 6 年 2 月分事業実績報告、行事・会議等報告、委員会・その他会議報告

(3) 部会・各種委員会等

三役会（16 回）、総務企画委員会（11 回）、事業活性化委員会（11 回）、適正就業委員会（11 回）、安全管理委員会（4 回）、広報編集委員会（12 回）、研修委員会（12 回）、就業開拓委員会（4 回）

(4) 地域班活動・職群班活動

- 地域班活動は、ブロック理事・地区長及び班長を通じ、センターからの「事務局だより」、通知文書等を毎月会員に配布しました。また、地区毎に班長会議やブロック会員連絡会等を開催し、会員からの情報を収集しました。
- 職群班（仕事別グループ）活動では、「円滑な就業を行うこと」、「安全に就業を行うこと」等についての会議を開催しました。

※事業報告の附属明細書の作成について

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しません。

会 員 状 況

令和6年3月31日現在

1. 会 員 数

男	634 人	(624人)	() 内は前年度の数値です。
女	472 人	(461人)	
計	1,106 人	(1,085人)	

2. 会員年齢別構成

単位：(人)

性別 年齢	男	女	計	構成比
60歳未満	0	0	0	0.0%
60～64歳	18	30	48	4.3%
65～69歳	89	72	161	14.6%
70～74歳	181	125	306	27.7%
75～79歳	190	120	310	28.0%
80歳以上	156	125	281	25.4%
計	634	472	1,106	100.0%

※平均年齢 全 体 75.6 歳 (75.5 歳)
 男 75.8 歳 (75.7 歳) 女 75.3 歳 (75.3 歳)

※最高年齢 男 95 歳 女 95 歳

3. 会員入退会状況 (過去10か年)

単位：(人)

年度	入 会			退 会			差 引			年度末会員数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
26	71	63	134	94	60	154	△ 23	3	△ 20	683	486	1,169
27	85	59	144	74	69	143	11	△ 10	1	694	476	1,170
28	67	51	118	75	61	136	△ 8	△ 10	△ 18	686	466	1,152
29	73	67	140	94	63	157	△ 21	4	△ 17	665	470	1,135
30	90	58	148	71	50	121	19	8	27	684	478	1,162
31	66	52	118	82	44	126	△ 16	8	△ 8	668	486	1,154
R2	61	51	112	90	65	155	△ 29	△ 14	△ 43	639	472	1,111
R3	77	42	119	79	56	135	△ 2	△ 14	△ 16	637	458	1,095
R4	67	60	127	80	57	137	△ 13	3	△ 10	624	461	1,085
R5	80	77	157	70	66	136	10	11	21	634	472	1,106

令和5年度 職群別事業実績

	職群名	受託 件数	就 業 延人員	配分金	材料費	事務費	合計金額
公 共 事 業	技 術 群	0	0	0	0	0	0
	技 能 群	10	57	116,200	249,700	36,810	402,710
	事 務 群	74	218	1,251,068	0	127,481	1,378,549
	管 理 群	68	10,509	68,401,415	9,651	7,428,893	75,839,959
	折 衝 外 交	12	431	737,150	95,579	73,715	906,444
	一 般 作 業	176	8,652	32,240,099	245,780	3,360,209	35,846,088
	サービス群	131	24,649	56,466,667	4,539,957	5,696,029	66,702,653
	そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計	471	44,516	159,212,599	5,140,667	16,723,137	181,076,403
民 間 企 業 等	技 術 群	1	1	2,000	300	200	2,500
	技 能 群	68	288	1,877,555	157,484	188,917	2,223,956
	事 務 群	37	617	3,121,213	62,304	304,827	3,488,344
	管 理 群	166	5,599	24,385,884	0	2,431,794	26,817,678
	折 衝 外 交	0	0	0	0	0	0
	一 般 作 業	1,587	15,703	40,274,298	145,350	4,219,065	44,638,713
	サービス群	55	2,443	7,212,451	169,923	729,995	8,112,369
	そ の 他	12	331	683,080	0	68,308	751,388
	計	1,926	24,982	77,556,481	535,361	7,943,106	86,034,948
民 間 家 庭	技 術 群	48	72	204,000	23,760	20,400	248,160
	技 能 群	1,679	5,528	34,363,400	2,359,822	3,449,120	40,172,342
	事 務 群	6	12	23,891	0	2,531	26,422
	管 理 群	0	0	0	0	0	0
	折 衝 外 交	0	0	0	0	0	0
	一 般 作 業	1,842	7,109	21,720,531	392,138	3,875,706	25,988,375
	サービス群	2,674	11,616	26,307,974	11,606	3,018,675	29,338,255
	そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計	6,249	24,337	82,619,796	2,787,326	10,366,432	95,773,554
独 自 事 業	技 術 群	153	1,589	3,266,748	91,040	328,662	3,686,450
	技 能 群	12	899	949,473	0	105,497	1,054,970
	事 務 群	0	0	0	0	0	0
	管 理 群	0	0	0	0	0	0
	折 衝 外 交	0	0	0	0	0	0
	一 般 作 業	0	0	0	0	0	0
	サービス群	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計	165	2,488	4,216,221	91,040	434,159	4,741,420
合 計	技 術 群	202	1,662	3,472,748	115,100	349,262	3,937,110
	技 能 群	1,769	6,772	37,306,628	2,767,006	3,780,344	43,853,978
	事 務 群	117	847	4,396,172	62,304	434,839	4,893,315
	管 理 群	234	16,108	92,787,299	9,651	9,860,687	102,657,637
	折 衝 外 交	12	431	737,150	95,579	73,715	906,444
	一 般 作 業	3,605	31,464	94,234,928	783,268	11,454,980	106,473,176
	サービス群	2,860	38,708	89,987,092	4,721,486	9,444,699	104,153,277
	そ の 他	12	331	683,080	0	68,308	751,388
	計	8,811	96,323	323,605,097	8,554,394	35,466,834	367,626,325

令和5年度 月別事業実績

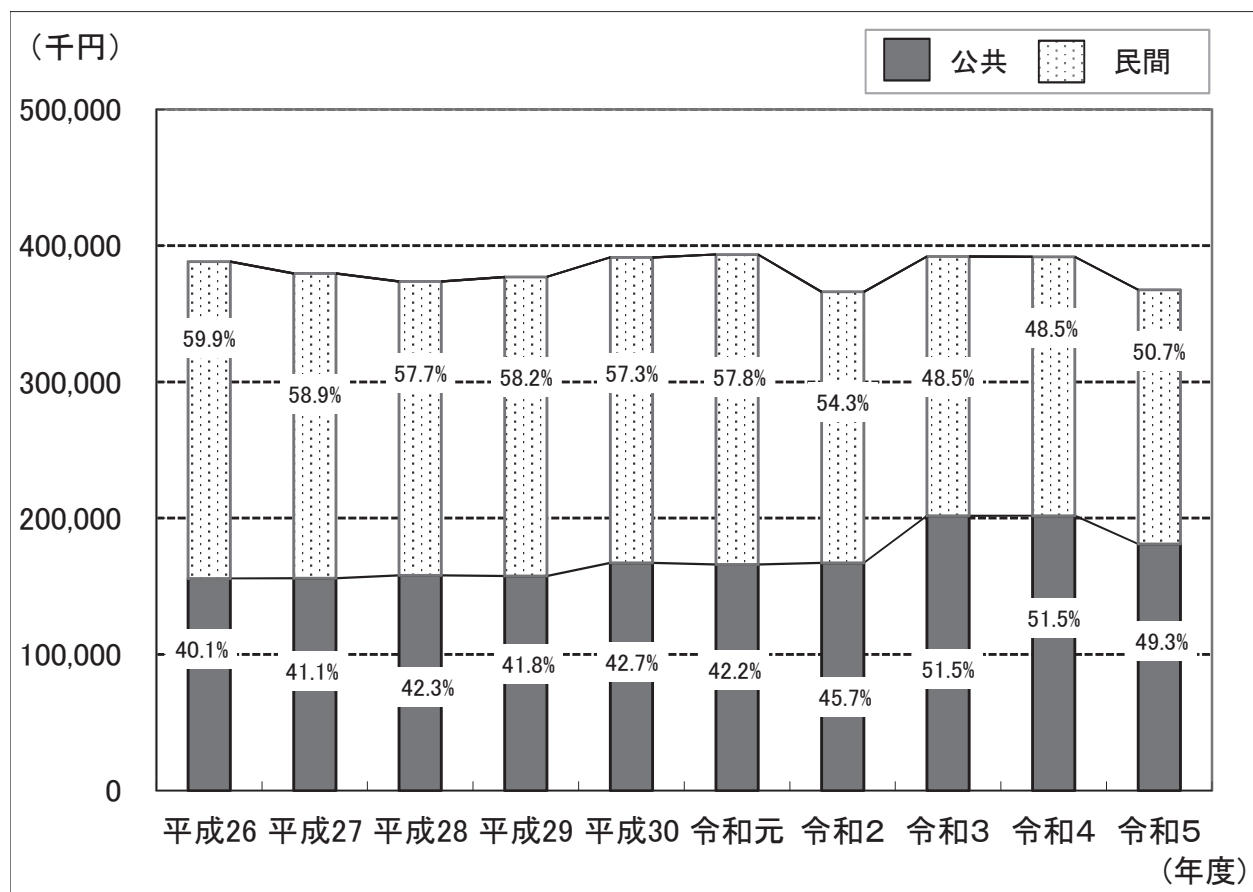
月	区 分	受託 件数	就 業 実人員	就 業 延人員	配 分 金	事務費	材料費	合計金額
4月	公 共	40	723	3,650	13,991,200	1,756,104	459,637	16,206,941
	民 間	612		3,729	11,321,869	1,238,896	216,529	12,777,294
	計	652		7,379	25,313,069	2,995,000	676,166	28,984,235
5月	公 共	34	723	3,405	12,432,187	1,288,800	424,944	14,145,931
	民 間	725		4,409	14,928,830	1,726,111	294,416	16,949,357
	計	759		7,814	27,361,017	3,014,911	719,360	31,095,288
6月	公 共	34	725	3,770	12,965,837	1,331,521	430,806	14,728,164
	民 間	796		4,966	16,405,733	1,924,501	363,281	18,693,515
	計	830		8,736	29,371,570	3,256,022	794,087	33,421,679
7月	公 共	37	724	4,040	13,744,260	1,431,032	504,168	15,679,460
	民 間	761		4,434	14,178,153	1,692,938	330,669	16,201,760
	計	798		8,474	27,922,413	3,123,970	834,837	31,881,220
8月	公 共	32	686	3,484	12,490,172	1,311,270	471,228	14,272,670
	民 間	596		3,737	10,857,807	1,335,093	111,008	12,303,908
	計	628		7,221	23,347,979	2,646,363	582,236	26,576,578
9月	公 共	37	723	3,958	15,180,544	1,530,875	431,604	17,143,023
	民 間	773		4,559	14,520,115	1,723,873	213,192	16,457,180
	計	810		8,517	29,700,659	3,254,748	644,796	33,600,203
10月	公 共	36	729	3,588	12,850,373	1,321,532	437,625	14,609,530
	民 間	862		5,062	16,846,922	1,994,456	396,896	19,238,274
	計	898		8,650	29,697,295	3,315,988	834,521	33,847,804
11月	公 共	38	728	3,723	13,165,172	1,360,771	413,271	14,939,214
	民 間	808		4,967	16,861,066	1,909,354	418,242	19,188,662
	計	846		8,690	30,026,238	3,270,125	831,513	34,127,876
12月	公 共	38	738	3,644	12,526,450	1,288,543	373,666	14,188,659
	民 間	744		4,684	15,396,147	1,681,544	369,337	17,447,028
	計	782		8,328	27,922,597	2,970,087	743,003	31,635,687
1月	公 共	36	712	3,606	12,240,749	1,257,667	354,737	13,853,153
	民 間	575		3,852	11,320,296	1,169,961	267,689	12,757,946
	計	611		7,458	23,561,045	2,427,628	622,426	26,611,099
2月	公 共	57	694	3,368	12,180,048	1,269,292	457,113	13,906,453
	民 間	526		3,770	11,009,003	1,124,336	247,738	12,381,077
	計	583		7,138	23,189,051	2,393,628	704,851	26,287,530
3月	公 共	52	716	4,280	15,445,607	1,575,730	381,868	17,403,205
	民 間	562		3,638	10,746,557	1,222,634	184,730	12,153,921
	計	614		7,918	26,192,164	2,798,364	566,598	29,557,126
合計	公 共	471		44,516	159,212,599	16,723,137	5,140,667	181,076,403
	民 間	8,340		51,807	164,392,498	18,743,697	3,413,727	186,549,922
	計	8,811		96,323	323,605,097	35,466,834	8,554,394	367,626,325

過年度事業実績

平成26年度～令和5年度

年 度	受託 件数	就 業 実人員	就 業 延人員	公 共	民 間	合 計	対前年 度比
平成26年度	9,239	920	110,784	155,715,100	232,532,242	388,247,342	100.1%
平成27年度	9,400	945	108,924	155,955,893	223,524,594	379,480,487	97.7%
平成28年度	9,822	919	108,797	157,951,321	215,864,408	373,815,729	98.5%
平成29年度	10,204	928	110,154	157,503,095	219,418,723	376,921,818	100.8%
平成30年度	10,374	927	111,602	167,089,278	224,200,238	391,289,516	103.8%
令和元年度	10,463	978	108,253	166,027,703	227,471,824	393,499,527	100.6%
令和2年度	9,274	898	98,965	167,284,190	198,793,473	366,077,663	93.0%
令和3年度	9,450	882	103,397	201,689,345	190,248,918	391,938,263	107.1%
令和4年度	9,205	876	102,405	201,797,887	190,031,693	391,829,580	100.0%
令和5年度	8,811	848	96,323	181,076,403	186,549,922	367,626,325	93.8%

《過年度事業実績の推移》



令和5年度 派遣事業実施状況

資料 5

	受託件数 (件)	実人員 (人)	延日人数 (日)	延べ時間数 (時間)	賃金等 (円)	契約額 (円)
4月分	14	46	326	890.17	1,126,952	1,500,029
5月分	15	53	378	999.83	1,262,212	1,674,926
6月分	15	51	415	1,118.00	1,416,136	1,876,446
7月分	13	50	378	1,037.83	1,332,876	1,739,012
8月分	13	49	342	972.00	1,269,315	1,645,090
9月分	12	45	349	912.67	1,186,049	1,530,199
10月分	12	46	349	915.33	1,204,551	1,604,508
11月分	11	42	327	839.08	1,112,993	1,460,775
12月分	11	42	316	832.83	1,106,959	1,463,559
1月分	11	42	323	820.42	1,093,934	1,424,098
2月分	11	45	312	824.17	1,086,456	1,441,046
3月分	11	45	336	910.42	1,230,814	1,598,463
合 計	—	—	4,151	11,072.75	14,429,247	18,958,151

※賃金等と契約額との差額は、当センターと財団の手数料によるものです。

令和5年度 補習教室 教科別生徒数状況

資料 6

	学年	実生徒数	教 科 別 人 員			
			国語	算数 (数学)	英語	計
小学生	3年	6	3	4	5	12
	4年	3	3	2	2	7
	5年	4	2	2	3	7
	6年	10	5	7	5	17
中学生	1年	7	3	5	4	12
	2年	6	5	6	4	15
	3年	8	7	8	8	23
合計		44	28	34	31	93

令和5年度 独自事業収入 3,686,450円 (前年度 3,494,450円)

令和5年度 手芸小物班 活動状況

資料 7

種 別		回数	出 店 & 活 動
独自事業	定例販売	21	市庁舎前販売
		12	事務所販売
	イベント 出店販売	4	タワーマルシェ販売
		1	西久保コミセン販売
受託事業	継続受注	11	民間企業1件
	単発受注	6	個人6件
作品製作作業		58	センター分館(吉祥寺北町)

令和5年度 独自事業収入 1,054,970円 (前年度968,300円)

令和5年度 受託事業収入 215,627円 (前年度366,605円)

令和5年度 事故発生状況

(令和6年3月31日現在)

【傷害事故】

	事故日	作業名	性別	年齢	就業 途上別	事故内容	傷害の程度	処置日数
1	4月22日	庭木の手入れ	女	67	就業中	松の剪定中、松葉が右眼に入り眼球に傷が付いた。	右眼の外傷	3日
2	5月9日	家事援助	女	72	就業途上	就業帰り、近道をするためスポーツクラブ敷地を通過しようとした際、躓き転倒した。	左右下肢・左手挫傷	1日
3	6月28日	庭木の手入れ	男	69	就業中	生垣に蜂の巣があり、蜂の攻撃対象の黒・灰色着衣で刈込み作業中にスズメバチに刺された。	左手甲の虫刺され	4日
4	7月10日	剪定器材運搬	男	71	就業中	剪定用の梯子等を軽トラックで運搬中、前方不注意の軽自動車に車両左側より衝突され、車両が横転した。	左肩打撲	1日
5	7月26日	学校清掃	女	74	就業途上	就業場所に向かう途中、道に迷いぐったりしていたところを、通行人に助けられ病院に運ばれた。	熱中症	1日
6	9月26日※	障子の張替え	女	63	就業中	運搬車両の運転手がブレーキをかけた際、助手席から手を伸ばし障子を抑えて肩に強く負担がかかった。※	右肩部腱断裂	10日
7	10月24日	家事援助	女	68	就業中	清掃をするためトイレに入る際、扉の敷居段差に左足小指を強くぶつけた。	左足小指骨折	処理中
8	12月21日	手芸小物班	女	76	就業中	市庁舎前の手芸小物の展示販売の際、昼休憩を取った後に急いで戻る途中で路面の凹凸に躓き転倒した。	顔左側・右手首・両膝の打撲挫傷	1日
9	2月1日	家事援助	女	76	就業中	買い物代行を終え就業場所に戻る途中、停車中のゴミ収集車のドアが急に開き、ドアに衝突して転倒した。	左手甲の小指側の骨折	処理中
10	2月20日	家事援助	女	83	就業中	居室の床に倒れたフローリングワイパーに右足が引っ掛かった。転倒し、右膝と腰部を床に打ち付けた。	右大腿骨骨折	処理中
11	2月26日	庭木の手入れ	男	65	就業中	作業に伴う長時間の手袋着用と鉢による圧迫により、爪の下の皮膚が傷つき内出血し、細菌感染した。	右手中指の爪の化膿	処理中

※4ヶ月の報告遅延（報告は1月末）

【賠償事故】

	事故日	作業名	性別	年齢	就業 途上別	事故内容	損害の程度	賠償金額
1	5月10日	共同住宅敷地内散水作業	男	71	就業中	作業前の器具類の点検をせず作業をし、散水ホースの部品が外れて側溝に落下、回収不能となった。	部分修理	1,400円
2	5月30日	剪定器材運搬	男	73	就業中	発注者宅の庭から箒を搬出する際、観葉植物の枝に箒を接触させたはずみで陶器の鉢を倒して割った。	同等品の購入	1,980円
3	11月12日	家事援助	女	81	就業中	洗い物をした際、包丁がシンク内に置いていたガラスポットと接触。ガラスポットにヒビが入った。	同等品の購入	6,040円
4	12月19日	研修委員会	男	74	就業中	フレイル予防研修会の準備中、キャスター付き長テーブルを移動する際に前方へ倒し、脚金具が破損した。	脚金具交換	57,200円
5	1月25日	庭木の手入れ	男	69	就業中	発注者隣家の壁の各所に剪定した柿を落下させ果汁を付着させた。	壁等の清掃	19,800円

令和5年度 事故発生状況（シルバー保険適用外）

【傷害事故】

	事故日	作業名	性別	年齢	就業 途上別	事故内容	傷害の程度	処置日数
1	6月27日	庭木の手入れ	女	74	就業途上	前後に作業道具を積んだ電動三輪車で道の角を曲がる途中で急停止したため、激しく右側に転倒した。(※1)	肋骨にひび	4日
2	8月11日	広報物配布	男	76	就業中	市報配布中のため乗っていた自転車から降りる際、熱中症によるめまいで転倒、頭を打ち救急搬送された。(※2)	熱中症 頭部外傷	1日

(※1) 医師の診断を受けず、かかりつけの整骨院に通ったため保険適用外となった。

(※2) 保険申請はしないとの本人の申し出があった。

【賠償事故】

	事故日	作業名	性別	年齢	就業 途上別	事故内容	損害の 程度	賠償金額
1	5月17日	庭木の手入れ	男	77	就業中	剪定作業中、三脚を動かした際に傍にあった植木鉢に当たり、元々ヒビが入っていた鉢が全壊した。	全壊	会員所有の鉢を代替品とした
2	10月16日	庭木の手入れ	男	67	就業中	庭木の剪定作業中に、電動バリカンがNTTの電線に接触し、一部の被覆を残して電線を切断した。	一部欠け	用済の電線のため弁償不要となった
3	11月13日	家事援助	女	75	就業中	洗面台の清掃中、陶器製のハンドソープ入れを落として割った。	一部欠け	同等品の購入

【車両事故】

	事故日	作業名	事故内容	損害等の程度
1	7月10日	剪定器材運搬	会員が剪定用の梯子等をセンター車両(軽トラック)で運搬中、前方不注意の軽自動車に車両左側より衝突され、車両が横転し全損となった。	車両全損
2	1月24日	剪定器材運搬	会員が剪定用の梯子等をセンター車両(軽トラック)で運搬中、交差点に進入してきた自転車と衝突、負傷させた。	賠償額 (治療費・修理費) 283千円

(2) 計算書類及び附属明細書
並びに財産目録

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	51,990,760	44,632,353	7,358,407
未収金	39,570,287	36,841,203	2,729,084
貸倒引当金	△ 237,421	△ 225,468	△ 11,953
＊	39,332,866	36,615,735	2,717,131
立替金	77,000	1,628	75,372
前払費用	861,100	853,600	7,500
流動資産合計	92,261,726	82,103,316	10,158,410
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	5,424,473	5,574,908	△ 150,435
減価償却引当資産	8,368,251	5,719,335	2,648,916
財政運営資金積立資産	8,000,000	8,000,000	0
特定資産合計	21,792,724	19,294,243	2,498,481
(2) その他固定資産			
付属建物	2,041,270	2,041,270	0
付属建物減価償却累計額	△ 557,893	△ 321,938	△ 235,955
＊	1,483,377	1,719,332	△ 235,955
車輛運搬具	3,786,735	3,786,735	0
車輛運搬具減価償却累計額	△ 3,786,733	△ 3,120,028	△ 666,705
＊	2	666,707	△ 666,705
什器備品	1,386,275	1,386,275	0
什器備品減価償却累計額	△ 332,795	△ 113,779	△ 219,016
＊	1,053,480	1,272,496	△ 219,016
リース資産	7,636,200	7,636,200	0
リース資産減価償却累計額	△ 3,690,830	△ 2,163,590	△ 1,527,240
＊	3,945,370	5,472,610	△ 1,527,240
電話加入権	0	0	0
敷金	39,600	39,600	0
保証金	1,823,400	1,823,400	0
預託金	15,850	15,850	0
その他固定資産合計	8,361,079	11,009,995	△ 2,648,916
固定資産合計	30,153,803	30,304,238	△ 150,435
資産合計	122,415,529	112,407,554	10,007,975
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	35,131,407	35,521,909	△ 390,502
前受金	91,203	55,811	35,392
預り金	1,118,803	577,696	541,107
流動負債合計	36,341,413	36,155,416	185,997
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,424,473	5,574,908	△ 150,435
リース債務	3,945,370	5,599,880	△ 1,654,510
固定負債合計	9,369,843	11,174,788	△ 1,804,945
負債合計	45,711,256	47,330,204	△ 1,618,948
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	76,704,273	65,077,350	11,626,923
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(16,368,251)	(13,719,335)	(2,648,916)
正味財産合計	76,704,273	65,077,350	11,626,923
負債及び正味財産合計	122,415,529	112,407,554	10,007,975

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	362,884,905	387,366,830	△ 24,481,925
受取配分金	319,388,876	345,990,184	△ 26,601,308
受取材料費等	8,463,354	8,483,510	△ 20,156
受取事務費	35,032,675	32,893,136	2,139,539
独自事業収益	4,741,420	4,462,750	278,670
受取配分金	4,216,221	3,899,161	317,060
受取材料費等	91,040	102,870	△ 11,830
受取事務費	434,159	460,719	△ 26,560
労働者派遣事業等受託収益	2,247,829	2,156,573	91,256
労働者派遣事業等受託収益	2,247,829	2,156,573	91,256
受取会費	2,223,000	2,250,000	△ 27,000
正会員受取会費	2,223,000	2,250,000	△ 27,000
特別会員受取会費	0	0	0
賛助会員受取会費	0	0	0
受取補助金等	85,943,000	87,698,000	△ 1,755,000
受取連合交付金	24,429,000	26,149,000	△ 1,720,000
受取市補助金	61,114,000	61,149,000	△ 35,000
自動車安全装置支援事業助成金	400,000	400,000	0
特定資産運用益	235	271	△ 36
特定資産受取利息	235	271	△ 36
雑収益	384,803	55,957	328,846
受取利息	629	530	99
雑収益	384,174	55,427	328,747
経常収益計	458,425,192	483,990,381	△ 25,565,189
(2) 経常費用			
事業費	432,956,698	462,570,756	△ 29,614,058
支払配分金	323,605,097	349,889,345	△ 26,284,248
支払材料費等	4,489,867	5,257,510	△ 767,643
職員基本給	16,431,957	16,238,749	193,208
職員特別給与	7,027,653	7,758,666	△ 731,013
職員諸手当	7,108,210	8,757,440	△ 1,649,230
臨時雇用賃金	9,504,466	9,848,375	△ 343,909
嘱託職員報酬	15,689,780	17,447,185	△ 1,757,405
法定福利費	8,010,735	8,102,680	△ 91,945
退職給付費用	2,315,538	2,171,493	144,045
会議費	3,741	0	3,741
旅費交通費	2,354,654	2,451,000	△ 96,346
通信運搬費	2,515,069	2,534,896	△ 19,827
減価償却費	2,464,585	2,444,270	20,315
消耗什器備品費	0	759,355	△ 759,355
消耗品費	1,811,084	2,611,104	△ 800,020
燃料費	309,179	300,369	8,810
修繕費	217,807	302,597	△ 84,790
印刷製本費	1,650,471	1,558,400	92,071
光熱水料費	90,397	93,214	△ 2,817
賃借料	10,333,294	9,684,034	649,260
保険料	3,711,591	3,609,764	101,827
諸謝金	33,068	0	33,068
租税公課	6,027,588	2,850,374	3,177,214
支払負担金	144,000	201,600	△ 57,600
組織活動助成費	107,946	15,564	92,382
委託費	6,187,763	6,845,929	△ 658,166
支払手数料	786,401	803,544	△ 17,143
貸倒引当金繰入	15,168	32,699	△ 17,531
貸倒損失	0	0	0
雑費	9,589	600	8,989

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	13,841,571	13,925,007	△ 83,436
職員基本給	1,825,773	1,804,306	21,467
職員特別給与	780,850	862,074	△ 81,224
職員諸手当	789,801	994,313	△ 204,512
臨時雇用賃金	1,115,681	1,071,282	44,399
嘱託職員報酬	1,743,307	1,939,435	△ 196,128
法定福利費	890,082	900,330	△ 10,248
退職給付費用	257,282	241,277	16,005
福利厚生費	426,489	445,032	△ 18,543
会議費	197	2,038	△ 1,841
旅費交通費	335,628	439,000	△ 103,372
通信運搬費	268,634	277,766	△ 9,132
減価償却費	184,331	174,728	9,603
消耗什器備品費	0	84,372	△ 84,372
消耗品費	207,483	731,253	△ 523,770
修繕費	847	11,898	△ 11,051
印刷製本費	440,741	287,592	153,149
賃借料	1,079,100	1,063,030	16,070
保険料	40,109	100,066	△ 59,957
諸謝金	55,115	70,180	△ 15,065
租税公課	1,800	1,200	600
支払負担金	144,000	52,400	91,600
燃料費	11,798	10,934	864
委託費	2,825,047	2,007,688	817,359
支払手数料	109,065	89,543	19,522
雑費	308,411	263,270	45,141
経常費用計	446,798,269	476,495,763	△ 29,697,494
評価損益等調整前当期経常増減額	11,626,923	7,494,618	4,132,305
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	11,626,923	7,494,618	4,132,305
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
固定資産売却益	0	45,428	△ 45,428
車両運搬具売却益	0	45,428	△ 45,428
貸倒引当金取崩益	0	0	0
貸倒引当金取崩益	0	0	0
経常外収益計	0	45,428	△ 45,428
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
車両運搬具売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	2	△ 2
什器備品除却損	0	2	△ 2
付属建物除却損	0	0	0
電話加入権除却損	0	0	0
経常外費用計	0	2	△ 2
当期経常外増減額	0	45,426	△ 45,426
当期一般正味財産増減額	11,626,923	7,540,044	4,086,879
一般正味財産期首残高	65,077,350	57,537,306	7,540,044
一般正味財産期末残高	76,704,273	65,077,350	11,626,923
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	76,704,273	65,077,350	11,626,923

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	356,690,265	6,194,640		362,884,905
受取配分金	319,388,876	0		319,388,876
受取材料費等	8,463,354	0		8,463,354
受取事務費	28,838,035	6,194,640		35,032,675
独自事業収益	4,741,420	0		4,741,420
受取配分金	4,216,221	0		4,216,221
受取材料費等	91,040	0		91,040
受取事務費	434,159	0		434,159
労働者派遣事業等受託収益	2,247,829	0		2,247,829
労働者派遣事業等受託収益	2,247,829	0		2,247,829
受取会費	1,111,500	1,111,500		2,223,000
正会員受取会費	1,111,500	1,111,500		2,223,000
特別会員受取会費	0	0		0
賛助会員受取会費	0	0		0
受取補助金等	79,791,600	6,151,400		85,943,000
受取連合交付金	24,429,000	0		24,429,000
受取市補助金	55,002,600	6,111,400		61,114,000
自動車安全装置支援事業助成金	360,000	40,000		400,000
特定資産運用益	235	0		235
特定資産受取利息	235	0		235
雑収益	772	384,031		384,803
受取利息	629	0		629
雑収益	143	384,031		384,174
経常収益計	444,583,621	13,841,571		458,425,192
(2) 経常費用				
事業費	432,956,698	0		432,956,698
支払配分金	323,605,097	0		323,605,097
支払材料費等	4,489,867	0		4,489,867
職員基本給	16,431,957	0		16,431,957
職員特別給与	7,027,653	0		7,027,653
職員諸手当	7,108,210	0		7,108,210
臨時雇用賃金	9,504,466	0		9,504,466
嘱託職員報酬	15,689,780	0		15,689,780
法定福利費	8,010,735	0		8,010,735
退職給付費用	2,315,538	0		2,315,538
会議費	3,741	0		3,741
旅費交通費	2,354,654	0		2,354,654
通信運搬費	2,515,069	0		2,515,069
減価償却費	2,464,585	0		2,464,585
消耗什器備品費	0	0		0
消耗品費	1,811,084	0		1,811,084
燃料費	309,179	0		309,179
修繕費	217,807	0		217,807
印刷製本費	1,650,471	0		1,650,471
光熱水料費	90,397	0		90,397
賃借料	10,333,294	0		10,333,294
保険料	3,711,591	0		3,711,591
諸謝金	33,068	0		33,068
租税公課	6,027,588	0		6,027,588
支払負担金	144,000	0		144,000
組織活動助成費	107,946	0		107,946
委託費	6,187,763	0		6,187,763
支払手数料	786,401	0		786,401
貸倒引当金繰入	15,168	0		15,168
貸倒損失	0	0		0
雑費	9,589	0		9,589

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
管理費	0	13,841,571		13,841,571
職員基本給	0	1,825,773		1,825,773
職員特別給与	0	780,850		780,850
職員諸手当	0	789,801		789,801
臨時雇用賃金	0	1,115,681		1,115,681
嘱託職員報酬	0	1,743,307		1,743,307
法定福利費	0	890,082		890,082
退職給付費用	0	257,282		257,282
福利厚生費	0	426,489		426,489
会議費	0	197		197
旅費交通費	0	335,628		335,628
通信運搬費	0	268,634		268,634
減価償却費	0	184,331		184,331
消耗什器備品費	0	0		0
消耗品費	0	207,483		207,483
修繕費	0	847		847
印刷製本費	0	440,741		440,741
賃借料	0	1,079,100		1,079,100
保険料	0	40,109		40,109
諸謝金	0	55,115		55,115
租税公課	0	1,800		1,800
支払負担金	0	144,000		144,000
燃料費	0	11,798		11,798
委託費	0	2,825,047		2,825,047
支払手数料	0	109,065		109,065
雑費	0	308,411		308,411
経常費用計	432,956,698	13,841,571		446,798,269
評価損益等調整前当期経常増減額	11,626,923	0		11,626,923
基本財産評価損益等	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0		0
評価損益等計	0	0		0
当期経常増減額	11,626,923	0		11,626,923
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0		0
車両運搬具売却益	0	0		0
貸倒引当金取崩益	0	0		0
貸倒引当金取崩益	0	0		0
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0		0
車両運搬具売却損	0	0		0
固定資産除却損	0	0		0
什器備品除却損	0	0		0
付属建物除却損	0	0		0
電話加入権除却損	0	0		0
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	11,626,923	0		11,626,923
一般正味財産期首残高	61,784,823	3,292,527		65,077,350
一般正味財産期末残高	73,411,746	3,292,527		76,704,273
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
(1) 収益				
収益計	0	0		0
(2) 費用				
費用計	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
Ⅲ 正味財産期末残高	73,411,746	3,292,527		76,704,273

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっております。

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …期末債権残高に一定率を乗じて算出した金額を計上しております。

退職給付引当金…期末退職給付の要支給額に相当する金額から、中小企業退職金共済給付額を控除した金額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	5,574,908	410,270	560,705	5,424,473
減価償却引当資産	5,719,335	2,648,916	0	8,368,251
財政運営資金積立資産	8,000,000	0	0	8,000,000
合 計	19,294,243	3,059,186	560,705	21,792,724

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当資産	5,424,473	—	—	(5,424,473)
減価償却引当資産	8,368,251	—	(8,368,251)	—
財政運営資金積立資産	8,000,000	—	(8,000,000)	—
合 計	21,792,724	—	(16,368,251)	(5,424,473)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末 残 高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
(補助金)						
市補助金	武蔵野市	0	61,114,000	61,114,000	0	—
連合交付金	(公財) 東京しごと財団	0	24,429,000	24,429,000	0	—
(助成金)						
自動車安全装置 支援事業助成金	(公財) 東京しごと財団	0	400,000	400,000	0	—
合 計		0	85,943,000	85,943,000	0	—

5. その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

退職金規定に基づく退職一時金制度を採用しております。

②退職給付債務及びその内訳（単位：円）

退職給付債務	5,424,473
退職給付引当金	5,424,473

③退職給付費用に関する事項（単位：円）

中小企業退職金共済掛金	984,000
全国シルバー人材センター企業年金基金	1,178,550
退職給付引当金の当期増加額	410,270
退職給付費用	2,572,820

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の算定にあたり簡便法を採用しており、退職給付に係る期末自己都合要支給額から、中小企業退職金共済給付額を除いた金額を退職給付引当金に計上しております。

(2) 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	225,468	15,168	3,215	0	237,421
退職給付引当金	5,574,908	410,270	560,705	0	5,424,473

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記 2. 特定資産の増減額及びその残高に記載している。

2. 引当金の明細

引当金の明細は、財務諸表に対する注記 5. その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項 (2) 引当金の明細に記載している。

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	332,080
		普通預金、ゆうちょ銀行	運転資金として	317,303
		普通預金、三菱UFJ銀行吉祥寺支店	運転資金として	32,854,628
		普通預金、多摩信用金庫武蔵野支店	運転資金として	7,973,506
		普通預金、三井住友銀行三鷹支店	運転資金として	9,470,441
		普通預金、きらぼし銀行武蔵野支店	運転資金として	1,021,414
		普通預金、三菱UFJ信託銀行吉祥寺支店	運転資金として	21,388
		普通預金、三菱UFJ銀行吉祥寺支店	市補助金管理用として	0
		普通預金、三菱UFJ銀行吉祥寺支店	国補助金管理用として	0
		未収金	事業収入等に対する未収金である	39,570,287
	貸倒引当金	未収金に対する貸倒見積額	未収金の貸倒れに備える引当金である	△ 237,421
	立替金	発注者	賠償保険金及び会員負担分	77,000
	前払費用	多摩信用金庫等	事務所賃料等	861,100
流動資産合計				92,261,726
(固定資産)	退職給付引当資産	定期預金、三菱UFJ信託銀行吉祥寺支店	職員の退職金支払の財源として積み立てている	5,424,473
特定資産	減価償却引当資産	定期預金、三菱UFJ信託銀行吉祥寺支店	固定資産の取得時の財源とするために積み立てている資産であり、資産取得資金として管理している	8,368,251
その他固定資産	財政運営資金積立資産	普通預金、三菱UFJ信託銀行吉祥寺支店	財政運営資金として積み立てている	8,000,000
	付属建物	OA床	公益目的事業と管理運営の用に供している	1,116,500
		物置	公益目的事業の用に供している	279,734
		カーテン一式	公益目的事業と管理運営の用に供している	87,143
	車両運搬具	貨物車両1台、軽車両1台	公益目的事業の用に供している	2
	什器備品	キャビネット等	公益目的事業と管理運営の用に供している	581,855
		パソコン3台	公益目的事業と管理運営の用に供している	471,625
	リース資産	パソコン14台等	公益目的事業と管理運営の用に供している	3,945,370
	敷金	駐車場	敷金として	39,600
	保証金	事務所	保証金として	1,823,400
	預託金	車両リサイクル預託金	所有車両廃棄時の処分料として	15,850
固定資産計				30,153,803
資産合計				122,415,529
(流動負債)	未払金	会員配分金及び支払先業者等に対するもの	3月分の会員配分金未払分・事業に係る物品及び委託業者等への未払分	35,131,407
	前受金	会員に対するもの	次年度会員会費	42,000
	預り金	発注者に対するもの	作業代金等	49,203
		職員に対するもの	社会保険料等	1,117,478
		発注者に対するもの	発注者からの過入金	1,325
流動負債合計				36,341,413
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員5名に対する退職金の支給に備えたもの	5,424,473
	リース債務	リースに対するもの	PCリースに対するもの	3,945,370
固定負債合計				9,369,843
負債合計				45,711,256
正味財産				76,704,273
負債及び正味財産合計				122,415,529

(3) 監 查 報 告

監 査 報 告 書

令和6年5月15日

公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター
会 長 安 達 勝 殿

公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター

監 事 中 野 菱 子 印

監 事 永 井 雄 太 郎 印

私達は、公益社団法人武蔵野市シルバー人材センターの令和5年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査報告

- 一 公益社団法人武蔵野市シルバー人材センターの令和5年度の事業報告は、法令もしくは定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算書類及び附属明細書並びに財産目録の監査結果

公益社団法人武蔵野市シルバー人材センターの令和5年度の計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

議 案

(1) 第1号議案 令和5年度 計算書類等の承認の件

提案の理由

令和5年度の収支が添付した計算書類のとおりとなったので、法令に従って承認を求めるものです。

※計算書類は、19頁～28頁に記載しているため、参考書類には重ねての記載を省略しております。

(2) 第2号議案 理事6名の選任の件

提案理由

当センターの事業運営を円滑に行うため、理事6名の選任を求めるものです。
理事候補者は以下のとおりです。

候補者 番号	氏 名 (会員番号)	年齢、入会、再任・新任、居住地域、センターでの業 務歴、参考となる経歴、資格等
1	内田 眞一 (215061)	77 歳、平成 27 年 6 月 25 日入会 再任、中町、研修委員会委員長、ふれあい訪問収 集、市報配布
2	廣瀬 文則 (219003)	76 歳、平成 31 年 4 月 1 日入会 新任、吉祥寺北町、クリーンセンター小型家電分解 指導、運搬班
3	納堂 誠 (217134)	71 歳、平成 30 年 2 月 22 日入会 再任、西久保、事業活性化委員会委員長、安全管理 委員会副委員長、成蹊大学図書館管理、市報配布
4	加藤 力弥 (217069)	71 歳、平成 29 年 7 月 27 日入会 新任、境、理事1期在任(令和元年6月～令和3年6月)、 ふれあい訪問収集、学校施設管理、境地区地区長
5	山田 剛 (特別会員)	令和 2 年 5 月 21 日入会 再任、千葉県船橋市、武蔵野市健康福祉部長
6	中村 京子 (特別会員)	令和 4 年 4 月 21 日入会 再任、吉祥寺南町、常務理事、事務局長

任期：選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会
の終結の時まで

その他資料

- 会員心得十か条・就業心得十か条（表紙裏）
- 公益財団法人東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）
理事長挨拶文
- 会員表彰者一覧
- 事前質問用紙
- 公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター役員名簿

令和 6 年度定時総会
東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）理事長挨拶

令和 6 年度定時総会にあたり、ご挨拶申し上げます。

我が国の総人口が減少する中で、65 歳以上の人口は、総務省統計局によりますと令和 5 年 9 月時点で 3623 万人となり、総人口に占める割合は過去最高の 29.1%となっております。

さらに、65 歳以上の高齢者のうち 914 万人が就業しており、就業率は 25.2%で、65 歳以上の 4 人に 1 人は就業していることになります。

シルバー人材センターは、これまでも自主・自立の組織理念、共働・共助の事業理念を掲げて事業を推進してきました。

また、シルバー人材センターには、地域における働く意欲のある高齢者の就業の受け皿として、幅広いニーズに応えられるよう就業の機会を拡大し、地域における生きがいやコミュニケーションの場として地域社会の活性化にも貢献していくなど、労働力人口が減少する中で以前にも増して大きな役割が期待され、社会的な注目度も上がってきています。特に人手不足業界である介護や保育分野では、女性会員の活躍がより一層求められています。

令和 6 年度には東京都においてシルバー人材センターに係る新事業が予算化され、多様な就業案件の提供や、シルバー人材センターのブランド力向上を図る事業などに取り組む予定です。

貴シルバーセンターにおかれましては、この機会を逃がさずに新事業をご利用くださいますようお願い申し上げます。

令和 5 年度の東京都シルバー人材センター連合全体の状況を見ますと、各シルバー人材センターの工夫や努力にも拘わらず、会員数はコロナ禍以前のレベルまでは回復しておりません。しかしながら、東京都シルバー人材センター連合は、令和 4 年度の会員の増加数が 466 人と全国で 2 番目に多かったということで、全国シルバー人材センター事業協会の総会において表彰されることとなりました。これは、各シルバー人材センターの皆様のたゆまぬ努力の賜物と感謝する次第です。

シルバー人材センターは、昨年 10 月に導入されたインボイス制度や今年の秋頃に施行予定のフリーランス新法及び厚生労働省の方針として示された新しい契約方法への移行など、大きな転換期を迎えています。東京都シルバー人材センター連合は、今後も各シルバー人材センターの皆様方と手を携え、一丸となって取組んで参ります。

結びに、人生 100 年時代を迎え、会員の皆様の心と体と頭の健康維持とともに、関係各位の益々のご健勝と貴シルバー人材センターの一層の発展を心より祈念しまして挨拶いたします。

令和 6 年 6 月

公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)
理事長 中澤 基行

令和6年度定時社員総会 会員表彰者一覧

○永年会員表彰

(敬称略)

20年表彰

＜吉祥寺東町＞
松木 元次

＜中 町＞
内山 慎一

＜関 前＞
村田 正一
井口 ヨネ子

＜境南町＞
比留間 久雄
大久保 節子

＜御殿山＞
岩間 芙美子

＜西久保＞
柴沼 瑞江
濱口 智枝子

＜八幡町＞
吉見 通孝

＜境＞
藤崎 ヨシエ

＜吉祥寺北町＞
星田 正
野口 喜久男

＜桜 堤＞
森住 忠治
今本 針子

10年表彰

＜吉祥寺東町＞
湯川 謹二
高村 信子

＜中 町＞
石井 育代
塙 勝彦
富岡 照美
三浦 勝子

＜緑 町＞
武田 淑子
村上 宏子
田中 光子
鴨下 初枝
北村 美子
太田 秀男
市井 親

＜境南町＞
山田 繁夫
高石 好子
祝 和子

＜吉祥寺南町＞
小坂 強
杉浦 真吉
吉田 健一

＜西久保＞
林 修治
内田 真人
高椋 寛治
熊倉 麗子
後藤 孝一
笹井 洋子
大石 雅子

＜関 前＞
上野 米子
栗田 小恵
高澤 富江
森田 博
閑野 繁

＜境＞
佐野 敬子
山本 庸子
赤羽 英子
鈴木 充代
関根 貴美子

＜吉祥寺本町＞
春田 嘉三
海老原 知子

＜桜 堤＞
谷村 隆義
今本 春参

＜吉祥寺北町＞
友成 令子
山田 直映
山本 哲朗
佃 健二
田村 浩志

＜八幡町＞
藤井 美津子
内田 誠一

令和6年3月31日を基準として、
在籍年数20年の会員を「20年表彰」、
在籍年数10年の会員を「10年表彰」としました。

○東京しごと財団表彰

森田 良國

キ
リ
ト
リ
線

公益社団法人
武蔵野市シルバー人材センター
会 長 安 達 勝 様

會員氏名

※質問の内容は、できるだけ簡潔にご記入願います。

[illegible]

FAX 0422-56-2622

公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター役員名簿

令和6年3月31日現在

役 職	氏 名	備 考
会 長	安達 勝	代表理事
副 会 長	小野 千鶴子	代表理事
理 事	中村 京子	常務理事兼事務局長
理 事	山田 剛	武蔵野市健康福祉部長
理 事	吉澤 信彦	第1ブロック理事
理 事	内田 眞一	第2ブロック理事
理 事	内田 成子	第3ブロック理事
理 事	納堂 誠	第4ブロック理事
理 事	内山 光男	第5ブロック理事
理 事	舟山 五郎	第6ブロック理事
監 事	中野 菱子	
監 事	永井 雄太郎	公認会計士

地区ブロック一覧

ブロック名	町 名
第1ブロック	吉祥寺東町・吉祥寺南町
第2ブロック	御殿山・吉祥寺本町・中町
第3ブロック	吉祥寺北町・緑町
第4ブロック	西久保・八幡町
第5ブロック	関前・桜堤
第6ブロック	境・境南町



シルバー人材センターのイメージキャラクター
「シルバーくん」

